

# 令和5年度事業計画

公益財団法人 糸賀一雄記念財団

## 1 基本方針

今日、我が国は、経済的な発展のもとに物質的には豊かになったが、未だ様々な「不均衡」があふれており、「生きる意味のない命」があるかのように人を分断する事件やコロナ禍での不当な差別事象も起こっている。しかし、一人ひとりの存在そのものは、等しく光り輝いている個性であり、その輝き、すなわち「尊厳」を認め合う共生社会の実現が急務である。

糸賀一雄氏の思想は、あらゆる人の尊厳を等しく尊重するという、障害の有無、年齢、性別、国籍等を問わない普遍的思想であり、今こそ国内外や未来に発信すべき指針（道しるべ）である。

当財団では、この思想を受け継ぎ、次の時代へ確実に伝え、今の時代に求められる福祉の「人づくり・意識づくり」を進めるため、「糸賀一雄記念賞」および県から受託の「共生社会づくりリーダー等養成事業」や国から受託の「共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業」などを実施し、障害者をはじめとする生きづらさがある人やその家族が生涯にわたり安心して生活できる共生社会の実現を目指す。

また、「公益財団法人糸賀一雄記念財団第二次中期経営計画」の着実な推進に努めるとともに、組織をあげて賛助会員を増やす活動を強化推進するなどして、当財団の自主的・主体的な運営の確立および持続的な経営の安定を目指す。

## 2 事業計画

### (1) 啓発事業

- ア 福祉分野以外（企業、教育、まちづくり、男女共同参画など）との連携強化に向けた協議調整
- イ ブックレット「ほほえむちから」を使った「語り部」による啓発活動の実施

### (2) 表彰事業

- ア 令和5年度糸賀一雄記念賞および同未来賞の候補者および団体の募集ならびに選考委員会の開催
- イ 令和5年度糸賀一雄記念賞および同未来賞の授賞式の開催

### (3) 共生社会づくりリーダー等養成事業

- ア 地域社会のあらゆる分野で共生社会づくりを推進するリーダーの養成に向けた研修等の開催
- イ 糸賀一雄氏ら先人の関連資料の展示・収集

### (4) 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業

障害福祉従事者、事業経営者等が改めて共生社会の基本理念等を学び、それを実践につなげていくことを目的とした共生社会フォーラム研修事業を当財団が受託し実施する。併せて、本事業の実施を通じて、共生社会の基本理念を福祉現場や地域で語り広めることができる「語り部」を確保・育成する。

### (5) 関連事業

- 糸賀一雄記念賞第二十二回音楽祭の実行委員会への参加

### (6) 広報事業

- 財団広報誌の発行やホームページの運営

### (7) 財政基盤の強化

- 賛助会員の拡大を図るとともに、ブックレット「ほほえむちから」の頒布により自主財源の確保に努める。

# 収 支 予 算 書

自 令和 5 年 4 月 1 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,000	9,000	△ 8,000	
受取会費	405,000	280,000	125,000	
事業収益	10,768,000	16,312,000	△ 5,544,000	
受取補助金等	8,759,000	8,759,000	—	
受取寄付金	3,000,000	3,000,000	—	
経常収益計	22,933,000	28,360,000	△ 5,427,000	
(2) 経常費用				
事業費	18,115,000	23,557,000	△ 5,442,000	
管理費	4,818,000	4,803,000	15,000	
経常費用計	22,933,000	28,360,000	△ 5,427,000	
(うち人件費)	8,350,000	8,230,000	120,000	
評価損益等調整前当期 経常増減額	—	—	—	
評価損益等計	—	—	—	
当期経常増減額	—	—	—	
当期一般正味財産増減 額	—	—	—	
一般正味財産期首残高	△ 42,687	△ 205,596	162,909	
一般正味財産期末残高	△ 42,687	△ 205,596	162,909	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
受取会費	1,249,000	1,222,000	27,000	
一般正味財産への振替額	△ 3,405,000	△ 3,280,000	△ 125,000	
当期指定正味財産増減 額	△ 2,156,000	△ 2,058,000	△ 98,000	
指定正味財産期首残高	50,639,110	51,373,110	△ 734,000	
指定正味財産期末残高	48,483,110	49,315,110	△ 832,000	
<b>III 正味財産期末残高</b>	48,440,423	49,109,514	△ 669,091	

# 収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令和 5 年 4 月 1 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	1,000	-	-	-	1,000
受取会費	284,000	-	121,000	-	405,000
事業収益	10,768,000	-	-	-	10,768,000
受取補助金等	4,962,000	-	3,797,000	-	8,759,000
受取寄付金	2,100,000	-	900,000	-	3,000,000
経常収益計	18,115,000	-	4,818,000	-	22,933,000
(2) 経常費用					
事業費	18,115,000	-	-	-	18,115,000
管理費	-	-	4,818,000	-	4,818,000
経常費用計	18,115,000	-	4,818,000	-	22,933,000
(うち人件費)	5,830,000	-	2,520,000	-	8,350,000
評価損益等調整前当期 経常増減額	-	-	-	-	-
評価損益等計	-	-	-	-	-
当期経常増減額	-	-	-	-	-
当期一般正味財産増減 額	-	-	-	-	-
一般正味財産期首残高	△ 42,687	-	-	-	△ 42,687
一般正味財産期末残高	△ 42,687	-	-	-	△ 42,687
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
受取会費	875,000	-	374,000	-	1,249,000
一般正味財産への振替額	△ 2,384,000	-	△ 1,021,000	-	△ 3,405,000
当期指定正味財産増減 額	△ 1,509,000	-	△ 647,000	-	△ 2,156,000
指定正味財産期首残高	35,448,377	-	15,190,733	-	50,639,110
指定正味財産期末残高	33,939,377	-	14,543,733	-	48,483,110
<b>III 正味財産期末残高</b>	33,896,690	-	14,543,733	-	48,440,423

## 資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 5 年 4 月 1 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

### 1 資金調達の見込みについて

なし

### 2 設備投資の見込みについて

なし

# 令和4年度事業報告

公益財団法人 糸賀一雄記念財団

今後の福祉の発展と人づくり、意識づくりを図り、障害者など生きづらさがある人やその家族が生涯にわたって安心して生活できる福祉社会の実現に寄与するため、糸賀一雄氏ら先人の福祉の実践と思想の普及啓発や、糸賀一雄記念賞および同未来賞の表彰事業、共生社会づくりリーダー等養成事業、共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業などを実施した。

## 1 表彰に関する事業

### (1) 糸賀一雄記念賞および同未来賞の候補者および候補団体の募集

令和4年5月25日から令和4年7月29日までを募集期間とし、候補者および候補団体の募集を行った。

### (2) 選考委員会の開催

令和4年8月26日（金）AP東京八重洲会議室にて選考委員会を開催し、次の受賞者を選考した。

ア 記念賞 水流源彦氏（鹿児島県鹿児島市：社会福祉法人ゆうかり 理事長）

イ 記念未来賞 特定非営利活動法人 シアター・アクセシビリティ・ネットワーク

（東京都世田谷区：理事長 廣川麻子）

特定非営利活動法人 みぎわ（奈良県奈良市：理事長 櫻井徳恵）

### (3) 授賞式の開催

ア 日時 令和4年11月12日（土）

イ 場所 ホテルニューオウミ あづちの間

ウ 内容 表彰式、受賞者記念スピーチ

## 2 共生社会づくりリーダー等養成事業

滋賀県との共生社会づくりリーダー等養成事業委託契約に基づき、あらゆる人が持つ尊厳の大切さを語る糸賀思想を原点とする福祉の心を広めるリーダー等の養成や、県立長寿社会福祉センター内の展示スペースにパネル展示等を行うなど、糸賀一雄氏らの実践と思想の発信、啓発を図った。

## 3 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業

「津久井やまゆり園」で起きた殺傷事件を風化させることなく、命の重さと共生社会に関する基本理念を多くの国民に浸透させるため、厚生労働省から受託し、一般の方を対象としたプログラムと福祉の現場や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修を組み合わせた共生社会フォーラムを5会場（静岡・滋賀・広島・福島・佐賀）で開催するとともに、滋賀ではこれまでの研修受講者等の実践報告・交流会を併せて開催した。

## 4 啓発事業

ブックレット「ほほえむちから」や糸賀一雄紹介パンフレットを活用し、糸賀氏の思想の普及啓発に努めた。

# 正味財産増減計算書

自 令和 4 年 4 月 1 日  
至 令和 5 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	894	8,369	△ 7,475
特定資産運用益	—	1	△ 1
受取会費	509,000	84,000	425,000
事業収益	9,719,585	8,703,217	1,016,368
受取補助金等	8,759,000	8,315,000	444,000
受取寄付金	1,840,000	3,188,000	△ 1,348,000
雑収益	26	46	△ 20
経常収益計	20,828,505	20,298,633	529,872
(2) 経常費用			
事業費	16,531,069	15,235,959	1,295,110
管理費	4,461,976	4,170,764	291,212
経常費用計	20,993,045	19,406,723	1,586,322
(うち人件費)	8,465,350	7,702,752	762,598
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 164,540	891,910	△ 1,056,450
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	△ 164,540	891,910	△ 1,056,450
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	—	—	—
(2) 経常外費用			
経常外費用計	—	1	△ 1
当期経常外増減額	—	△ 1	1
当期一般正味財産増減額	△ 164,540	891,909	△ 1,056,449
一般正味財産期首残高	253,313	△ 638,596	891,909
一般正味財産期末残高	88,773	253,313	△ 164,540

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>Ⅱ 指定正味財産増減の部</b>			
受 取 寄 付 金	1,000,000	310,000	690,000
受 取 会 費	1,079,000	1,084,000	△ 5,000
一般正味財産への振替額	△ 2,349,000	△ 3,272,000	923,000
当期指定正味財産増減額	△ 270,000	△ 1,878,000	1,608,000
指定正味財産期首残高	50,979,110	52,857,110	△ 1,878,000
指定正味財産期末残高	50,709,110	50,979,110	△ 270,000
<b>Ⅲ 正味財産期末残高</b>	50,797,883	51,232,423	△ 434,540

## 正味財産増減計算書内訳表

自 令和 4 年 4 月 1 日  
至 令和 5 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	626	—	268	—	894
特定資産運用益	—	—	—	—	—
受取会費	356,300	—	152,700	—	509,000
事業収益	9,719,585	—	—	—	9,719,585
受取補助金等	4,802,018	—	3,956,982	—	8,759,000
受取寄付金	1,288,000	—	552,000	—	1,840,000
雑収益	—	—	26	—	26
経常収益計	16,166,529	—	4,661,976	—	20,828,505
(2) 経常費用					
事業費	16,531,069	—	—	—	16,531,069
管理費	—	—	4,461,976	—	4,461,976
経常費用計	16,531,069	—	4,461,976	—	20,993,045
(うち人件費)	5,912,748	—	2,552,602	—	8,465,350
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 364,540	—	200,000	—	△ 164,540
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 364,540	—	200,000	—	△ 164,540
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	—	—	—	—	—
(2) 経常外費用					
経常外費用計	—	—	—	—	—
当期経常外増減額	—	—	—	—	—
当期一般正味財産増減額	△ 364,540	—	200,000	—	△ 164,540
一般正味財産期首残高	253,313	—	—	—	253,313
一般正味財産期末残高	△ 111,227	—	200,000	—	88,773



科	目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取 引消去	合計
<b>Ⅱ</b>	<b>指定正味財産増減の部</b>					
	受取会費	755,300	—	323,700	—	1,079,000
	受取寄付金	700,000	—	300,000	—	1,000,000
	一般正味財産への振替額	△1,644,300	—	△ 704,700	—	△2,349,000
	当期指定正味財産増減額	△ 189,000	—	△ 81,000	—	△ 270,000
	指定正味財産期首残高	35,685,377	—	15,293,733	—	50,979,110
	指定正味財産期末残高	35,496,377	—	15,212,733	—	50,709,110
<b>Ⅲ</b>	<b>正味財産期末残高</b>	35,385,150	—	15,412,733	—	50,797,883

# 貸 借 対 照 表

令和 5 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 資 産 の 部</b>			
1 流 動 資 産			
現 金 預 金	2,323,772	2,913,107	△ 589,335
未 収 金	11,584,848	10,029,658	1,555,190
流 動 資 産 合 計	13,908,620	12,942,765	965,855
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定 期 預 金	50,673,110	50,943,110	△ 270,000
基 本 財 産 合 計	50,673,110	50,943,110	△ 270,000
(2) その他固定資産			
電 話 加 入 権	36,000	36,000	-
その他固定資産合計	36,000	36,000	-
固 定 資 産 合 計	50,709,110	50,979,110	△ 270,000
資 産 合 計	64,617,730	63,921,875	695,855
<b>II 負 債 の 部</b>			
1 流 動 負 債			
短 期 借 入 金	10,000,000	10,000,000	-
未 払 金	3,795,242	2,589,467	1,205,775
預 り 金	24,605	99,985	△ 75,380
流 動 負 債 合 計	13,819,847	12,689,452	1,130,395
負 債 合 計	13,819,847	12,689,452	1,130,395
<b>III 正 味 財 産 の 部</b>			
1 指 定 正 味 財 産			
賛 助 会 費	2,910,000	2,340,000	570,000
寄 付 金	47,763,110	48,603,110	△ 840,000
電 話 加 入 権	36,000	36,000	-
指 定 正 味 財 産 合 計	50,709,110	50,979,110	△ 270,000
(うち基本財産への充当額)	(50,673,110)	(50,943,110)	(△ 270,000)
(うち特定資産への充当額)	(-)	(-)	(-)
2 一 般 正 味 財 産	88,773	253,313	△ 164,540
正 味 財 産 合 計	50,797,883	51,232,423	△ 434,540
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	64,617,730	63,921,875	695,855